



Tokushima University Hospital

News Letter

徳島大学病院ニュースレター2025 WINTER 発行: 徳島大学病院

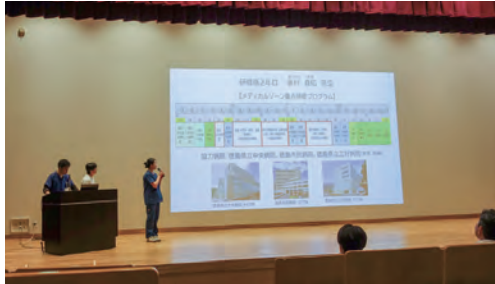
No.42

徳島大学病院 研修プログラム説明会

初期研修
および
専門医研修

2025年6月14日(土)に大塚講堂にて医学科学生・初期研修医を対象とした徳島大学病院臨床研修プログラム説明会を開催いたしました。

第一部では大ホールで初期臨床研修および専門研修プログラムの説明を行ったのち、初期研修医より大学での研修についてお話しいただきました。第二部は徳島大学病院の卒後臨床研修センターおよび各診療科(部・センター)による合同説明会をブース形式で行いました。県内の各施設だけでなく、四国内3県や大阪府の協力病院にもブースを開設していただき、徳島大学からだけでなく他大学も合わせて34名の医学生と40名の研修医の方々にお越しいただき、盛会となりました。平時におきましても、病院見学を随時受け付けています。



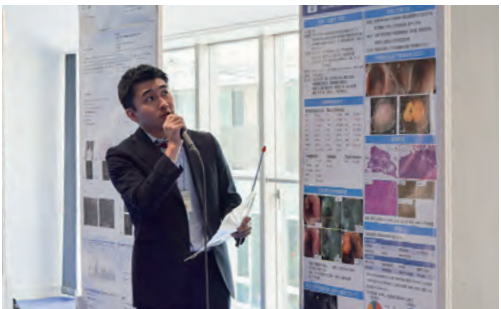
医療のエキスパートを目指して！ キャリアデザインセミナー

2025年11月20日(木)医学科4年生の講義の一環として、「医療のエキスパートを目指して！キャリアデザインセミナー」をオンラインと対面(研修医講義室)のハイブリッド形式にて開催いたしました。まず、中国四国厚生局健康福祉部医事課臨床研修審査専門員の田中 信一郎先生に初期臨床研修制度についてご講演いただきました。その後、当院の卒後臨床研修センタースタッフや、1年次、2年次の研修医を交えた対談を実施し、意見交換を行いました。この講義を通じ学生さんの今後のキャリアの選択肢が広がればと考えています。

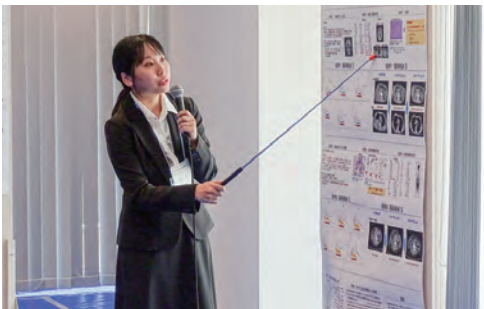


徳島医学会学術集会

2025年7月27日(日)に第271回徳島医学会が開催されました。徳島大学病院からは4名が下記診療科のご指導による演題発表を行い、辻 真紀子 先生と伊藤 直司 先生が第34回若手奨励賞を受賞されました。熱心にご指導いただきました各診療科の先生方には厚く御礼申し上げます。

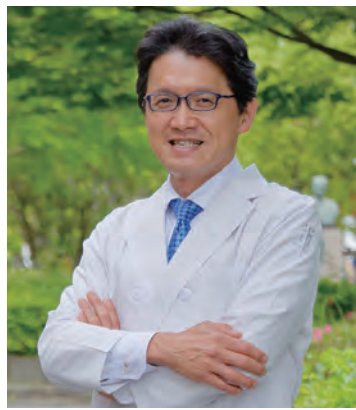


越智 拓磨 先生(1年目)消化器内科



辻 真紀子 先生(1年目)血液内科

令和7年度の初期臨床研修が始まり9カ月が過ぎました。アカデミアである大学病院の一員であるとの自覚と誇りの中で研修が行われていることと思います。1年目の皆様は、医師として慣れない環境の中で素晴らしい研修生活を送っていることと存じます。この研修期間で培った経験は今後の医師人生の礎となります。さらなる研鑽で、ますます成長してください。2年目の皆様は、これからが仕上げのための重要な時間となります。真のプロフェッショナルとして羽ばたくにあたり、残る期間は、医師としての責任感、学びの追求、チーム医療への貢献などを再確認する時間として頂きたい。最後になりますが、初期研修医の皆さん全員へ、病院長として心からのエールを送ります。
Nothing is impossible!



病院長 西良 浩一

研修医教育活動

卒後臨床研修センターでは各診療科の先生方にご協力いただき、研修医教育講座とスキルアップセミナーを定期的に開催し、実臨床に役立つ知識や手技の教育を行っております。ご協力いただいております各診療科の先生方にこの場を借りて御礼申し上げますと共に、来年度以降に関しましてもご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

また2025年9月20日(土)に開催された「総合メディカルゾーン本部合同災害対策訓練」には当院の研修医2名が参加し、災害時医療体制の検証を学ばせていただきました。

その他、卒後臨床研修センターにてネイティブの講師による英会話教室を定期開催しています(詳細は卒後臨床研修センターのHPをご参照ください)。

上記のスキルアップセミナーや英会話教室に関しては、医学部の学生さんにも門戸を広げていますので、ぜひご相談ください。



総合メディカルゾーン本部合同災害対策訓練



エコー実習



CVC講習会



縫合実習



スキルアップセミナー



英会話レッスン

県外広報

2025年7月6日(日)大阪、10月19日(日)広島にてレジナビフェアが開催され、徳島大学病院も現地参加いたしました。研修医たちはブースに来てくれた多くの学生に一生懸命対応してくれていました。また、大阪では“すだちくん”も駆けつけてくれて、徳島県内の関連病院ブースを盛り上げてくれました。一人でも多くの研修医が徳島に来てもらえるよう、来年度も頑張ります！



レジナビフェア

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

徳島大学病院

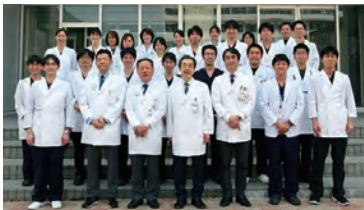
徳島大学病院 診療科案内

お問い合わせは
【初期研修】卒後臨床研修センター
E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp
【専門医研修】キャリア形成支援センター
E-mail: bcareer@tokushima-u.ac.jp

消化器内科

(科長 高山 哲治)

当科では消化器疾患の診療を中心に、内科を幅広く診療できる医師の育成を目指しています。消化器診療においては、早期胃癌・食道癌・大腸癌に対する粘膜下剥離術(ESD)を多数行い、肝臓に対してはラジオ波焼灼術や高度なインターベンション治療を多数行っています。また、種々の進行消化器癌に対して最新の分子標的治療薬を含めた質の高い化学療法を行うとともに優れた全身管理を行っています。当科における研修システムでは指導医が充実しており、指導医と研修医が一体となって最善の医療を提供しております。



連絡先 田中 宏典 tanaka.hironori@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7124 fax.088-633-9235



血液内科

(科長 松岡 賢市)

血液内科では、貧血・血小板減少・凝固異常といった日常的に経験される良性血液疾患への対応から、白血病・リンパ腫などの造血器悪性腫瘍に対する集学的治療まで、様々な血液疾患の診療を行っています。最近では造血細胞移植やCAR-T細胞療法などの新規治療技術を導入し、それぞれの患者に応じた個別化治療を展開しています。こうした診療経験を通じ、血液診療への理解を深めるとともに、広い分野において総合力を持って活躍できる医師の育成を目指しています。



連絡先 松岡 賢市 k-matsu@tokushima-u.ac.jp
原田 武志 takeshi_harada@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7120 fax.088-633-7121



心臓血管外科

(科長 秦 広樹)

当科では成人心疾患、先天性心疾患、大動脈・末梢血管疾患、重症心不全など広くカバーしています。低侵襲手術や最新デバイスをを用いた先進的手術が多くなりつつも新入局の先生も含め若手医師の執刀症例が増えています。

手術手技や周術期管理の習得に加え、基礎・臨床研究や論文執筆もできるバランスの取れたAcademic Surgeonの育成を目指し、国内外の施設への留学や医療支援の斡旋も行っています。

興味のある方は一度見学にお越しください。



連絡先 菅野 幹雄 msugano@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7152 fax.088-633-7408



泌尿器科

(科長 古川 順也)

徳島大学泌尿器科専門研修プログラムでは、幅広い診療拠点病院と教育関連施設で研修を受け、確かな臨床スキルを身につける充実した研修が行えます。また、泌尿器科におけるサブスペシャリティー領域(腹腔鏡手術、ロボット支援手術、腎移植、透析、小児泌尿器科、女性泌尿器科など)の専門性の高い研修も可能です。基幹施設である徳島大学病院では、希望により大学院進学、国内・海外留学も可能で、個々の志向やキャリアプランに合わせた柔軟な研修が可能です。泌尿器科に興味を持つ熱意ある先生を心よりお待ちしております。



連絡先 布川 朋也 fukawa.tomoya@tokushima-u.ac.jp
古川 順也 jfurukawa@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7159 fax. 088-633-7160



循環器内科

(科長 佐田 政隆)

循環器内科は、虚血性心疾患や不整脈、構造的な心疾患に対するカテーテル治療や画像検査、心臓リハビリなど幅広い領域をカバーしています。循環器救急24時間体制を構築しており、徳島県内の各種医療機関との病診連携も積極的に行っています。初期ならびに専門医研修については、四国はもとより東京、大阪、神戸、沖縄、静岡、愛知、熊本などの県外医療機関と連携して各自の将来設計に柔軟に対応できるプログラムを提供しています。



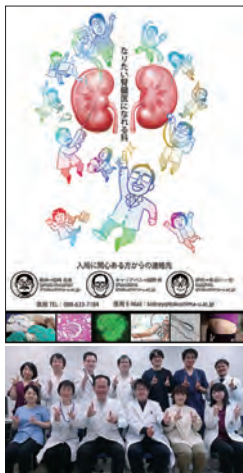
連絡先 佐田 政隆 masataka.sata@tokushima-u.ac.jp
伊勢 孝之 isetaka@tokushima-u.ac.jp
(卒後研修主任) tel.088-633-7852 fax.088-633-7894



腎臓内科

(科長 脇野 修)

腎臓内科では、県下一円から難治性の腎疾患患者を受け入れています。腎臓内科の診療活動は、ネフローゼ症候群・腎炎などの腎疾患の診断治療、末期腎不全の透析導入、透析室管理、他科よりのコンサルテーション臨床の4つの柱からなっています。糖尿病、高血圧、膠原病など全身性疾患からの腎障害も多く、広く内科全般に渡る症例を経験するとともに、急性腎障害を含めた透析管理、電解質管理を研修していただきます。横断的な腎移植、小児腎、透析栄養カンファも行っています。当科での取得可能専門医:内科・総合内科・腎臓・透析。



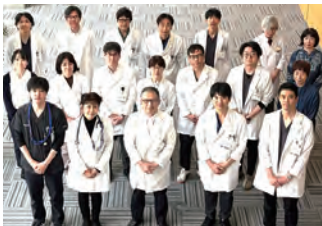
連絡先 長谷川 一宏 kazuhiro@tokushima-u.ac.jp
田蔭 昌憲 tamaki.masanori@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9116 fax.088-633-9245



脳神経内科

(科長 和泉 唯信)

徳島大学脳神経内科は、「治る脳神経内科」をモットーに、コモンな疾患(脳卒中、認知症、頭痛、てんかん、しびれ等)から神経難病まで幅広くカバーします。専門性に関して、ALSと不随意運動の診療・治療、電気生理検査を伝統的に得意とし、脳血管内治療の指導医も在籍しています。徳島では、神経疾患が大病院に集中し、これは臨床の技や考え方を磨くにあたり大きなアドバンテージです。ぜひ徳島大学脳神経内科で研修して下さい。短い期間の研修も大歓迎です！



連絡先 藤田 浩司 kfujita@tokushima-u.ac.jp
(医局: neuro@tokushima-u.ac.jp)
tel.088-633-7207 fax.088-633-7208



食道・乳腺甲状腺外科

(科長 後藤 正和)

食道、乳腺、甲状腺疾患について診断から治療まで幅広い研修が可能です。高難度手術である食道癌手術の修練を行う食道外科専門医認定施設であり、乳癌の治療実績も豊富で、甲状腺疾患に対する内視鏡手術にも取り組んでいます。基本的な外科手技、周術期管理、患者さんに合った医療を多職種と共に学び、執刀経験を積むことができます。希望する領域の専門医を取得可能な環境が整っています。興味のある方は是非ご連絡ください。



連絡先 後藤 正和 mgoto@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7143 fax.088-633-7144



呼吸器・膠原病内科

(科長 西岡 安彦)

肺癌、間質性肺炎、呼吸器感染症、気管支喘息、膠原病を中心に、指導医・専門医のもとチーム医療を推進しています。呼吸器病学、膠原病学に加え、臨床腫瘍学、感染症学、アレルギー学、免疫学等の幅広い分野の臨床経験が積めることは当科の特徴です。肺癌や間質性肺炎の治験・臨床試験に積極的に参加し、国内・国外留学による研修等を通じ常に総合力アップを意識し、全国レベル・国際レベルの医療人育成を目指しています。



連絡先 荻野 広和 ogino@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7127 fax.088-633-2134



内分泌・代謝内科

(科長 遠藤 逸朗)

内分泌代謝疾患には糖尿病、脂質異常症、甲状腺機能異常、二次性高血圧、骨粗鬆症など、日常診療で遭遇する頻度が高い疾患が含まれます。また、内分泌代謝疾患診療では、患者さんの全身を診るのみならず、その社会的背景も勘案した治療方針を考える必要があります。当科では、臨床医に必要なとされる幅広い病態の理解と的確な診断能力、そして最善の治療方針を立案できるスキルを身につけることができる教育、指導を行っています。



連絡先 遠藤 逸朗 endoits@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7120 fax.088-633-7121



総合診療部

(部長 八木 秀介)

近年、高齢化や生活習慣の変化に伴って慢性疾患の増加や疾病の多様化が目まぐるしく変化しています。総合診療部では、患者さんの年齢・性別や臓器、疾患の種類を限定せず、症状や検査データに加えて、患者さんの社会的背景、心のケアを含めた総合的視点で、包括的・全人的医療に取り組んでいます。また、2018年度に開始された新専門医制度における「総合診療専門医」の専門研修基幹施設として、徳島県内の様々な医療機関と連携して、未来の総合診療医の育成にも力を入れています。



連絡先 八木 秀介 syagi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9656 fax.088-633-9687



呼吸器外科

(科長 滝沢 宏光)

肺・縦隔・胸壁の腫瘍性疾患を中心に、呼吸器外科疾患全般の診療を行っています。3Dシミュレーション技術を活用し、複雑区域切除やロボット支援手術といった最新の術式を積極的に取り入れ、最良の外科医療を届けることを心がけています。気管支鏡技術(生検、マーキング、光線力学療法、気道ステント留置など)も行っています。呼吸器外科を志す人にとって充実した環境を整えていますので、興味のある方は是非ご連絡ください。



連絡先 滝沢 宏光 surgery2@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7143 fax.088-633-7144

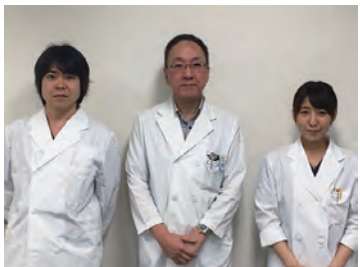


小児外科・小児内視鏡外科

(科長 石橋 広樹)

①小児外科の広範な疾患に対する治療: 四国の小児外科の中心的施設として、胸部、腹部をはじめ小児悪性腫瘍および、泌尿器科領域まで広範な疾患をカバーしています。

②小児外科領域での鏡視下手術: 小児臍径ヘルニアに対するLPEC法の他、ヒルシュスプリング病、鎖肛、GERDなどに対しても積極的に鏡視下手術を施行しており、中国・四国地方では、唯一の日本内視鏡外科学会技術認定医(小児外科)が在籍しています。



連絡先 石橋 広樹 hiroki@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9276 fax.088-631-9698



眼科

(科長 三田村 佳典)

人間は外界からの情報の80%を視覚から得ており、高齢化社会を迎え眼科学の重要性は増すばかりです。当教室では網膜硝子体、緑内障、角膜、斜視弱視、ぶどう膜炎、眼瞼眼窩、神経眼科といった広範囲の専門分野を研修することができま。また、最新の画像診断技術や人工知能を用いた質の高い眼科画像解析を行っております。ぜひ、我々とともに活気あふれる教室を作ってゆきましよう。

連絡先

三田村 佳典

yमितayमितaymita@yahoo.co.jp

tel.088-633-7163 fax.088-631-4848

皮膚科

(科長 久保 宜明)

皮膚科は最大の臓器の皮膚・粘膜で起こるあらゆる変化を扱う診療科で、扱う疾患が幅広く多岐にわたります。疾患の多くは目見え、QOLと直接結びつきます。後期研修の目標は、①実学としての皮膚科学の習熟、②皮膚科専門医取得、③研究です。全て卒業後が勝負で、体力、気力、好奇心をもち、皮疹を通してさまざまな病態を柔軟に考え加療して下さい。また研究にも興味を示してほしいと思います。いずれにせよ、皮膚科を選んだことを後悔することはありません。

連絡先

久保 宜明
仁木 真理子(総務医長)

kubo@tokushima-u.ac.jp
niki.mariko@tokushima-u.ac.jp

tel.088-633-7154
fax.088-632-0434

麻酔科

(科長 田中 克哉)

初期研修プログラムではどの科に進んでも必要な呼吸循環管理ができることを目標としています。麻酔科では、適切な麻酔をかけるだけでなく、手術や麻酔薬の影響で刻々と変化する全身の病態を早期に評価し、制御しています。気道確保など生命に直結する手技の習得と全身管理の面白さを体験できます。後期研修プログラムでは関連病院も含めてローテーションすることであらゆる症例や状態に対応できる麻酔科医を養成しています。

連絡先

田中 克哉

katsuya.tanaka@tokushima-u.ac.jp

tel.088-633-7181 fax.088-633-7182

産科婦人科

(科長 岩佐 武)

産科婦人科には生殖、腫瘍、周産期、女性医学の4領域がありますが、徳島大学病院では全領域の診療に加えて、それらに関連する基礎的および臨床的研究を行っています。4診療部門すべてが揃う強みを活かして、バランスのよい研修生活を送っていただけるよう努めています。産科婦人科に興味のある方はお気軽に御連絡下さい。

連絡先

山本 由理
(総務医長)

yamamoto.yuri@tokushima-u.ac.jp

tel.088-633-7177 fax.088-631-2630

救急集中治療科

(科長 大藤 純)

重症患者は様々な臓器に問題を抱えており、治療には呼吸や循環、感染症、栄養、腎・酸塩基平衡などに関する幅広い知識と病態を総合的に評価する力が必要です。救急集中治療科では、重症新型コロナウイルス肺炎を含む急性呼吸不全、循環不全、重症感染症や開心術後など、多様な重症患者の診療に携わり、人工呼吸、急性血液浄化、ECMOなどの高度な集中治療を通じて知識や技術、判断力を身につけることができます。急性期医療や重症患者管理に興味がある人は一緒に働きましよう。

連絡先

大藤 純

joto@tokushima-u.ac.jp

tel.088-633-9347 fax.088-633-9339

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

(科長 北村 嘉章)

耳鼻咽喉科・頭頸部外科は、呼吸、嚥下など生命に不可欠な機能と、聴覚、嗅覚、味覚、平衡覚など感覚器のほとんどを扱います。すなわち、人が人らしく生きるために必要な機能を治療し、患者さんが楽しく人生を送るための手助けをします。ロボット手術や内・外視鏡手術から内科的な免疫アレルギー疾患、リハビリまで担当範囲は想像以上に広く、興味の尽きることはありません。卒後臨床研修にぜひ、選択していただきたいと思います。

連絡先

東 貴弘
(総務医長)

azuma.takahiro@tokushima-u.ac.jp

tel.088-633-7169 fax.088-633-7170

形成外科・美容外科

(科長 橋本 一郎)

形成外科は、身体組織の変形や欠損に対して、より正常に近づけることを目的とする外科系の専門領域です。当科の研修プログラムは、基本的な手術手技の習得から始まり、大学病院と連携施設で研修することで、頭頸部や乳房再建などに必要なマイクロサージャリーの技術や、顔面骨折などの外傷、口唇口蓋裂などの体表先天異常の治療に必要な高度な技術以外に、美容医療に関するレーザー治療や注入術も習得することが可能です。

連絡先

峯田 一秀

keisei@tokushima-u.ac.jp

tel.088-633-7296 fax.088-633-7297

精神科神経科／心身症科

(科長 沼田 周助)

精神疾患を有する総患者数は400万人を超え、精神疾患は国の定める5大疾病の1つです。社会における精神科医の診療の役割と責務は非常に大きく、今、精神科医が求められています。精神科は小児から老人まで非常に守備範囲の広い診療科であり、自分のライフスタイルや興味に合わせて方向性を選択することができます。大学病院はもちろんのこと、大学病院関連研修施設の指導体制も充実しています。ぜひ徳大精神科で研修してください。

連絡先

富岡 有紀子
(医局長)

tomioka.yukiko.tokushima@gmail.com

tel.088-633-7130 fax.088-633-7131

放射線診断科

(科長 原田 雅史)

放射線診断科では画像診断(CT、MRI、核医学、超音波、消化管透視等)やIVR(血管内治療、CT ガイド下生検等)をはじめ、最先端の脳機能MRIやアミロイドイメージング、凍結療法等を行っており、全国トップクラスの環境と技術を誇っています。新たに人工知能(AI)の診断補助プログラムも導入し、遠隔診療を含めたIT技術を応用して高度な医療システムにも対応しました。これらにより多様な柔軟性と幅広い働き方が可能であり、個人の特性と環境に応じた選択が行え、仕事と私生活的バランスをとることが可能です。多くの医師が興味をもって来ていただければと思います。

連絡先

原田 雅史

masafumi@tokushima-u.ac.jp

tel.088-633-7173(内線 9283)
fax.088-633-7468

リハビリテーション部

(部長 松浦 哲也)

リハビリテーション科医は、療法士など多職種と連携し、チーム医療を通じて患者さんの生活の質を向上させることにやりがいを感じられる仕事です。急性期から生活期まで長期的な視点で診療でき、精神的な面でも患者さんの人生に寄り添えることが魅力です。また、ライフプランとキャリア形成が両立しやすい診療科なので、興味のある方は是非、ご連絡ください。

連絡先

松浦 哲也

tmatsu@tokushima-u.ac.jp

tel.088-633-9313 fax.088-633-7204

整形外科

(科長 西良 浩一)

整形外科は骨・筋肉・関節・神経・靱帯など運動器を幅広く扱う診療科です。ひとたび運動器が障害されれば、人間らしい生命活動は満足に行うことが出来ません。すなわち、運動器は人間が人間たる所以を発揮するのに、最も重要な器官ともいえます。整形外科は老若男女、全身(上肢・下肢・体幹)をカバーするため守備範囲が広く、国民から最も必要とされています。徳島から世界にはばたく整形外科医になりませんか。

連絡先

西良 浩一

seikei2@tokushima-u.ac.jp

tel.088-633-7240 fax.088-633-0178

脳神経外科

(科長 高木 康志)

脳神経外科は、common diseaseである脳血管障害、頭部外傷、脊椎脊髄疾患に加え、脳腫瘍、機能的疾患、小児神経疾患など様々な疾患を対象とします。徳島大学病院では脳卒中センターを有しており、将来進む科にかかわらずすべての初期研修医が、脳卒中診察、脳血管外科手技、脳血管内治療について学べるシステムを提供しています。また、ウェブカンファレンスシステムを用いて、関連病院間でのカンファレンスが可能で、専門知識の習得が行えます。後期研修では、脳神経外科疾患全般に対応できる能力を身に着けるだけでなく、興味を持つ専門領域の技術を獲得できるようにバックアップします。

連絡先

中島 公平

knakajima@tokushima-u.ac.jp

tel.088-633-7149(内線 3246)
fax.088-632-9464

小児科

(科長 漆原 真樹)

「子どもの健康を守ることでできる小児科専門医を育成すること、更に小児科サブスペシャルティ(専門分野)を含めた診療能力の養成とキャリア形成」が小児科医局員の目標です。小児救急医療(プライマリケア)、新生児医療から専門性の高い最新の医療まで幅広い知識と診療能力を習得できるよう、新しいことに挑戦し、日々診療に研究に努力しています。我々の未来である子ども達のために、小児医療に興味がある医師の方と共に頑張っていきたいと思っています。小児科への入局を心からお待ちしております。

連絡先

杉本 真弓

sugimoto.mayumi@tokushima-u.ac.jp

tel.088-633-7135 fax.088-631-8697

放射線治療科

(科長 生島 仁史)

徳島大学病院放射線治療科は、3台の高精度外部放射線治療装置(リニアック)および10台の三次元放射線治療計画装置を有し、前立腺がん・子宮頸がん・乳がんなどを対象とする密封小線源治療や放射性医薬品による内用療法を含む多様な放射線治療を行っています。これらの治療を通じて、年間約1,000人の患者を受け入れる国内有数の施設です。粒子線治療を除くあらゆる放射線治療の研修が可能であり、多くの診療科と連携した集学的ながん治療を実践する中で、最新の放射線治療技術を修得したがん医療のプロフェッショナルを育成しています。

連絡先

川中 崇

kawanaka@tokushima-u.ac.jp

tel.088-633-7173 fax.088-633-7468

病理診断科

(科長 上原 久典)

病理診断科は、病理組織診断・細胞診断を行うことにより、院内で実施される医療行為にevidenceを与える仕事を担っています。全国的に病理専門医数は絶対的に不足しています。医療界全体が病理医の育成、獲得に必死になる時代が到来しています。研修にあたっては、各人の事情(婚姻、子供の有無、勤務時間等)を考慮し、弾力的に対応します。病理診断に興味のある研修医を心からお待ちしております。

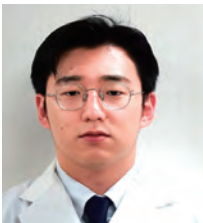
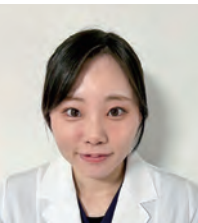
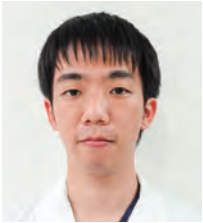
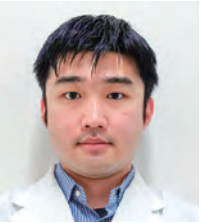
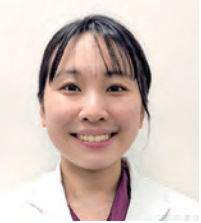
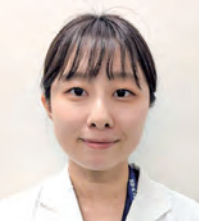
連絡先

上原 久典

uehara.h@tokushima-u.ac.jp

tel.088-633-7454 fax.088-633-9565

徳島大学病院ニュースレター 2025.Winter

研修医紹介 2 2年目研修医		伊藤 直司  あつという間の2年でした。来年も何処かの病院で一生懸命過ごします。のらりくらり。	井上 満理奈  患者さまに寄り添いながら、日々の学びを大切に成長していきたいです。ご指導よろしくお願いいたします。	松本 知大  研修期間も残り5ヶ月と短くなりましたが、最後まで頑張っていきたいと思っています。	茂木 勝矢  初期研修も終盤に差し掛かりましたが、初心を忘れず、後期研修に向けて一層精進して参ります。	奥村 真佑  研修生活は残りわずかとなってきましたが、実りある研修ができるように頑張ります。
山田 青季  初期研修も残り僅かとなりました。さらに成長できるよう頑張りますので、ご指導お願い致します。	上荷 康平  研修医生活もようやく終わりに近づいてきましたが、皆様に感謝の気持ちを忘れずにがんばります。	1 1年目研修医		尼子 工  学ぶ姿勢を大切に、日々の診療に誠実に取り組みます。ご指導の程、よろしくお願いいたします。	太田 公平  少しずつ診療にも徳島にも慣れてきたところです。これからも感謝を忘れず、基本を大切にしていきます。	越智 拓磨  周囲への感謝を忘れず、日々努力していきたいと思います。これからもよろしくお願いいたします。
後藤田 莉子  一刻も早く患者様、医療従事者の皆様のお役に立てるよう、自己研鑽に努めてまいります。	福田 翔一  枚方で経験したことを活かし、研修の中で大きく成長し、患者さんに貢献できるよう精進して参ります。	廣田 友汰  半年が経ちましたが毎日が学びの連続です。日々の経験を糧にこれからも頑張っています。	渡部 あすか  残り半年の研修も真摯に取り組み、確かな成長をもって2年目を迎えられよう努めます。	辻 真紀子  日々の学びと振り返りを大切にしながら、研修に励んでいます。今後も精進をう努めます。	松下 日菜子  学ぶ姿勢を忘れず、患者さんに寄り添う医師を目指します。よろしくお願いいたします。	

研修医奮闘記「初期研修を振り返って」

2年次研修医 茂木 勝矢 先生 AWAすだちプログラム 〈研修病院・施設〉 徳島大学病院、徳島赤十字病院 徳島県立三好病院  徳島大学病院研修医2年目の茂木勝矢です。初期研修も終盤に差し掛かり、月日の流れの早さを痛感します。この機会に改めて自分の研修を振り返りたいと思います。 私は徳島赤十字病院から研修を開始いたしました。Common diseaseを中心とした疾患に携わる中で、臨床医としての基礎を培うことができました。また、協力病院先の研修医とも交流を深めることができ、日々刺激を受けながら研修を送ることができたことは大きな財産であると思います。 その後徳島大学病院での研修は、大学病院ならではの専門性の高い疾患や高度医療に触れる機会に恵まれ、視野を広げることができました。市中病院で研修した土台があることで、より深く学	2年次研修医 奥村 真佑 先生 メディカルゾーン重点 研修プログラム 〈研修病院・施設〉 徳島大学病院、徳島県立中央病院 徳島市民病院、徳島県立三好病院 水の都記念病院  写真右 研修医2年目の奥村真佑と申します。初期研修も残りわずかとなり、来年度以降への不安と期待が入り混じっております。 わたしは、メディカルゾーン重点研修プログラムに属しており、徳島大学病院と徳島県立中央病院を中心に、徳島県立三好病院、徳島市民病院で研修をさせていただきました。 徳島大学病院での初期研修の最も魅力的な点は、自由なローテーションを組める点だと思えます。わたしは学生の頃から憧れていた診療科に合わせて、ローテーションをカスタマイズしました。興味のある診療科を早めにローテしたり、同じ診療科を大学病院と市中病院の両方で経験できたりすることは、今後の進路に非常に有利だと思
卒後臨床研修センター 新任スタッフ紹介 特任助教 脳神経外科 蔭山 彩人 このたび、卒後臨床研修センターのスタッフを拝命いたしました。皆さんが安心して学べる環境づくりに努めます。疑問や不安など気軽に相談してください。共に成長できるよう全力で支援いたします。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。 	ホームページ 卒後臨床研修センターでは、随時ホームページを更新しています。医学生に向けた研修プログラムのデジタルパンフレットを公開中です。その他、新しい研修プログラムの情報や研修医のブログなど様々な情報を配信しておりますので、ご興味のある方は卒後臨床研修センターホームページを是非ご覧ください。病院見学もホームページから申し込みます。 ■ニュースレターに関するご意見・ご要望など、お気軽にお寄せください。 PoGEC 卒後臨床研修センター The Post-graduate Education Center 徳島大学病院 卒後臨床研修センター Tel: 088-633-9359 Fax: 088-633-9358 E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp URL: https://www.tokudai-sotsugo.jp 

医員募集	
令和8年度の 医員募集情報	
徳島大学病院では、 右記の要領で、令和8年度の 医員（卒後3年目以降の専門医研修者を含む）を募集します。	
令和8年度の医員募集の概要	
条件	医師免許取得後2年以上臨床研修を行った者または、令和8年3月までに卒後臨床研修を修了（予定）している者。
募集人数	170名（ただし、専門医研修希望者はすべて受け入れます）。
処遇	国立大学法人徳島大学有期雇用職員就業規則による。
募集のための書類	希望する診療科または、法人運営部人事課蔵本人事係にお問い合わせください。 法人運営部人事課蔵本人事係 Tel.088-633-7018 Fax.088-633-7474
募集の締め切り	令和8年1月30日（金）
問い合わせ先	採用希望される場合は、随時、各診療科または、病院キャリア形成支援センター（総務課専門研修係）までお問い合わせください。 病院キャリア形成支援センター（総務課専門研修係） Tel.088-633-9976 Fax.088-633-9543 E-mail: bcareer@tokushima-u.ac.jp https://www.careercenter-dr.jp/